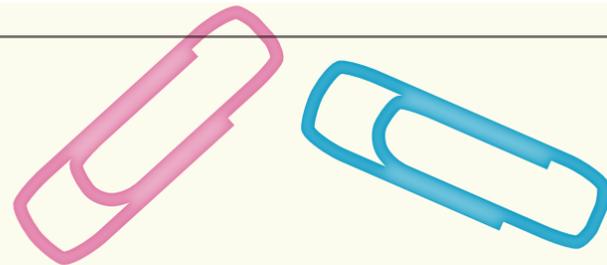


理学部



University of Science

I部数学科

要注意科目 微分積分学

要注意科目の微分積分学は高校数学から一気にレベルが上がり、初めのうちは内容を理解出来ない学生も多い。試験がとても難しく必修科目の中で一番単位を取りづらいため、生協で売られている数学科専門の参考書などを利用して、より一層真面目に勉強しておいた方がよい。理系学科にもかかわらず実験の授業がなく、レポート等も他学科と比べて簡単なものが多い。また、卒業所要単位のうち4単位はドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語から修得しなければならないため、1年生の間に履修することをお勧めする。

II部数学科

要注意科目 数学概論

II部数学科の授業はその多くが講義と演習に別れており、講義で習得した知識を演習で定着させる。授業の進行速度が速いため、一度欠席するとついていけなくなる可能性がある。なので、授業を休まず出席するよう心がけたい。特に要注意科目である数学概論は、毎回の授業で小テストが出され、それを全て受けることが定期試験の受験条件となる。講義をしっかりと聞いてノートを取っていれば、定期試験で困ることもないだろう。II部数学科は実験レポートがないため、他学科に比べ時間に余裕がある。余った時間を自分なりに有効利用すると良い。

I部物理学科

要注意科目 物理数学1B

要注意科目の物理数学1Bは毎回授業の最初に小テストがある。範囲に予習部分も含まれることがあるので、普段から勉強していないと点を取る事が難しい。物理学実験が4年生になるまで毎年行われ、単位を落としてしまうと卒業研究が出来なくなり、実質留年扱いになるので注意が必要だ。実験レポートは大変であるが毎回しっかり提出しなければならない。理学部の中でも特に女子が少ない学科ではあるが、その分個性的な趣味を持った学生がたくさんいるので、友人と大学生活を楽しむことができる。

II部物理学科

要注意科目 入門電磁気学、微分積分学

他の学科に比べて1年目での留年率が高いため、日頃から授業に出て内容理解に努めることを勧める。その中でも注意すべき科目は、入門電磁気学と微分積分学である。入門電磁気学は内容が難しく毎年単位を落とす人が多い。しかし、演習プリントと過去問を入念に勉強していれば心配はない。微分積分学で注意すべきは出席点である。抜き打ちで前期後期ともにそれぞれ一回ずつ出席をとり、それに出ていないと大幅に減点され、テストでの挽回も難しくなるので注意してもらいたい。毎週実験もあり忙しい学科ではあるが、友人と一緒に取り組んで、充実した大学生活を送ってほしい。

数理情報科学科

要注意科目 プログラミング及び演習、微積分及び演習

情報系の学科ではあるがプログラミングに慣れていない状態が入ってくる人はほとんどいないため、最初は多くの学生が戸惑う。慣れるまで時間が掛かるので、授業は毎回出席し、授業中で行うプログラミングはしっかりとまとめることが重要である。微積分及び演習では高校数学Ⅲの知識が全て頭に入っている前提で授業が進むので、わからないところはすぐに復習した方がよい。また、これらの試験は先生の癖もあるので早めの過去問対策が必要である。実験がないためサークルやバイトに打ち込む時間が多くあるが、試験は簡単なわけではないので課題がない分自発的に勉強しておかなければならない。

I部化学科

要注意科目 化学1・2

要注意科目である化学1・2は毎年多くの学生が再試験を受ける。難易度が高いわけではないので授業にしっかりと出席し、話を聞いていれば再試験の心配はいらない。化学2は授業内容の多くが先生著の本に載っていて、試験でも役に立つ。理科大の中でも特に試験や実験で忙しい学科であり、図書館に行けば必ずと言っていいほど化学科の学生がいる。後期から実験が始まりレポートに追われるが、それ以外の勉強が疎かにならないように前期のうちから勉強することを習慣付けておくと良い。出席点が評価に大きく関わる科目が多いので、授業にはしっかりと出るべきである。

II部化学科

要注意科目 基礎物理化学

基礎物理化学は内容の理解のしにくさに落とす学生が多いが、授業に出席し毎回最後に行う小テストをしっかりと押さえておけば再試験の心配はない。また、基礎有機化学は覚えることが多く、教科書をきちんと理解していないと解けない問題が試験に出るので、過去問だけでなく広い範囲の知識を教科書から吸収しなければならない。土曜日の実験の授業を前期か後期のどちらかで履修をするのだが、実験レポートなどで忙しくなるため他の履修をよく考えて決めると良い。理科大の中でも女性の比率が高く、実験などをきっかけに仲良くなる人も多いため雰囲気の良い学科である。

応用化学科

要注意科目 有機化学1

要注意科目である有機化学1は、毎回課題が出されるがこれは点数に含まれるので提出しなければ試験だけでは厳しくなる。また、過去問はなく先輩などの話を聞いてもあまり通用しない。後期の試験が非常に難しいので、前期の試験で高得点を取っておくと良い。物理化学1は高校の化学とは打って変わって難しくなり授業が抽象的に感じられる。後期から実験も始まり前期と比べ忙しくなるので、日頃から授業の復習を心がけることが重要である。垢ぬけた学生ばかりの印象があるが、実際には真面目な人が多く、助け合って勉強している学科である。

応用物理学科

要注意科目 電磁気学1

要注意科目の電磁気学1は、テストの採点が厳しく思わぬところで減点される。試験の3分の2は演習から出るので、講義・演習ともに重要である。授業に毎回出席し、試験前にしっかりと勉強をすれば関門科目を落とすことはほとんどない。この学科には個性的な先生が多く、楽しく授業を受けることができる。また応用物理科には1年間で取れる単位数の上限がなく、2年生以降を楽にするべく、1年生でたくさん単位を取っておく学生が多い。